

経営比較分析表（令和6年度決算）

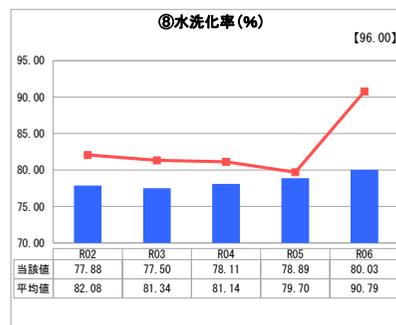
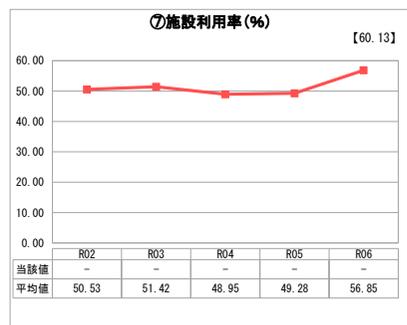
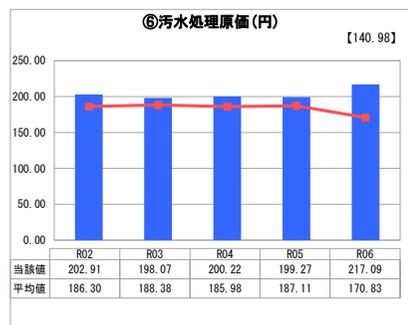
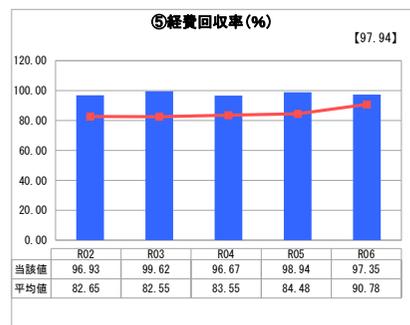
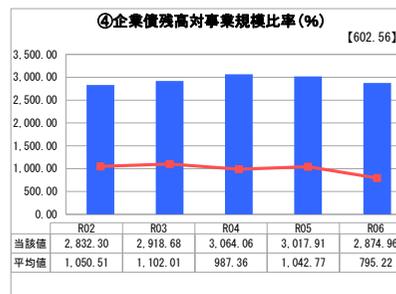
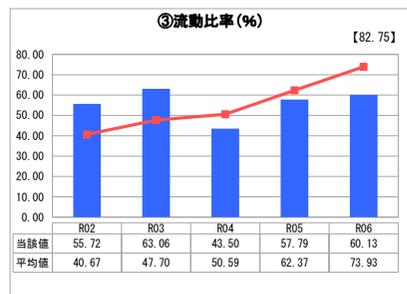
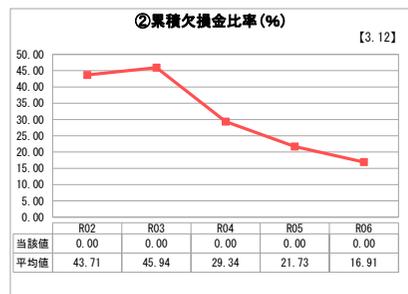
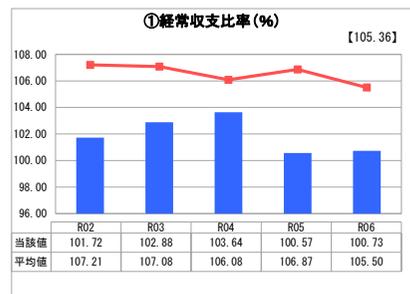
宮城県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	47.06	48.73	100.05	4,020

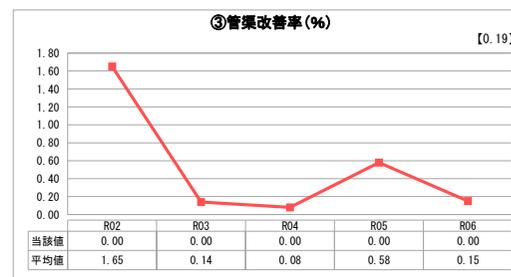
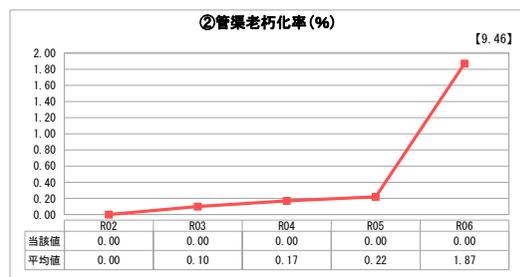
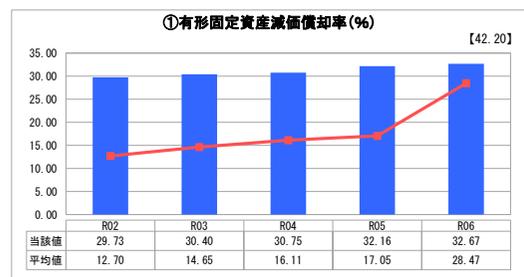
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,826	74.99	304.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,064	4.00	2,766.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率について
前年度と比較すると、過去に借入した企業債の元金償還が終了したことにより、流動負債の減であったことが指標の改善につながったと見られる。指標として100%を下回っているが、元金償還金のピークが令和13年度であることから、その後には指標の改善が見込まれる。

④企業債残高対事業規模比率について
下水道整備の途中であり、今後の企業債の発行予定を踏まえ、企業債残高は令和13年度がピークで、以後減少する見込みである。また、使用料改定は令和6年度に1回目の改定を実施し、令和8年度に2回目の改定を予定していることから、今後の指標の改善が見込まれる。

⑥汚水処理原価について
令和6年度は流域下水道維持管理負担金において、負担金単価の物価高騰による臨時改定があったことから、類似団体平均値より高い水準となった。

⑧水洗化率について
下水道整備により、現在処理区域内人口は増加しているため、全体として水洗化率が伸びにくい傾向がある。令和6年度の下水道基本構想の改定により、整備区域の縮小をしたことを機に、早期接続を推進し、指標の改善に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率について
マンホールポンプ等の機器が耐用年数を迎えようとしているため、ストックマネジメント計画に基づき、更新を行っている。今後も計画的に更新を行う。

全体総括

短期的な課題としては、水洗化率の向上が挙げられる。未接続者に対し、さらなる普及活動に努める。
中長期的な課題としては、汚水管きよ整備の早期完了が挙げられる。下水道基本構想の改定を行い、下水道の整備を令和12年度までに概成させる計画としたことから、下水道の整備を早期に完了させ、住民に利用してもらえ環境づくりに努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。